

「学校改革！教員の時間創造プロジェクト」

発行：教育委員会事務局教育総務部教育政策課 2018.11

教員、学校だけが孤立化しないように・・・

プロジェクトリーダーになって7ヶ月が過ぎました。昨年度はプランの立案に時間を割いてきましたが、今年度から具体的な実動に移りました。プロジェクトチーム内では、現場の先生方の熱い議論が交わされているのですが、結果として、文書として学校に出されると、賛否両論渦巻いているようです。そのため、できるだけ実動させるまでのプロセスを理解いただいたほうがよいと考え、ニュースレター発行となったしだいです。

学校がこれまで果たしてきた機能に対してまわりから寄せられる期待、またこれからそれに応えていきたいという自負心と、教員の働く総量のスリム化の狭間で起こる当然の摩擦と葛藤が見えてきます。地域も保護者も巻き込んだ議論にしないと、教員だけの都合で一方的に身を引いているように受け取られかねません。子どものためにありったけの時間を費やしてきた、それをよしとしてきた価値をもう一度見直し、もう少し自分の時間や家族との時間が持てるようにしなければと考えています。



2018.5.31 第1回「学校改革！教員の時間創造プロジェクト会議」

部活動にしても、教員の働き方改革だけで語ることはできません。部活動だけを取り出してそのあり方を検討することは、教育活動全体への弊害をもたらしかねません。並行して、部活動に替わる社会環境の中に活動の場を準備することも進めなければ、子どもが行き場を失うだけです。

そういった視点に立って、教員、学校だけが孤立化しないよう、かつ、これから教員を目指す新しい世代への人気職業選択の一つになれるよう、できるだけ広い視野を持ってリードしていきたいと考えています。

プロジェクトリーダー 橋爪 富二雄

第1～4回プロジェクト会議報告（意見交換内容）

- ・はプロジェクトメンバーからの意見
- ⇒は教育委員会事務局からの回答

取組方針1：仕事の総量を減らします

（4）事務機能の強化

- ・教育委員会で旅費事務の処理システムを作成してもらいたい（①）
⇒教職員情報システムの改修による登録自家用車旅費計算・集計システムの導入を来年度予算要求（③）
- ・共同学校事務室については、常勤方式か通い方式かも含め検討が必要（④）

（5）諸調査の精査及び削減

- ・諸調査の提出方法や紙、データ、鑑文の添付の有無等、教育委員会で統一してほしい（①）
⇒教育委員会と学校間の文書送達ルールを作成（④）

（6）各種事務の精査及び削減

- ・スポーツ振興センター給付金についてもシステム化してほしい（③）
⇒給食公会計及び学校徴収金システムに導入できないか検討している（③）
- ・高校入試願書等の提出について見直しを検討してほしい（①）
- ・郵便局に振込み、振込確認票を添付すれば学校で現金を扱わない（②）
- ・三菱総研のオンラインシステム導入が望まれる。まず市立2校からでも始めてほしい（④）
⇒市立高校の負担軽減も図られるため、入学願書の提出を電子申請（オンライン処理）にすることを検討したい（④）

取組方針3：時間を意識した働き方を徹底します

（1）学校閉庁日の設定

- ・8月16日に試合がある場合、15日は練習せざるを得ない。各種団体へ大会自粛の要請が必要（②）
⇒各種団体へ大会自粛の通知文を発出（④）

（5）教職員全体の意識改革

- ・施錠を警備会社にしてもらおうと負担が軽減するので検討してほしい（①）
⇒外部委託の見積額1億円超えているため、費用対効果を要検討（②）
- ・外部委託は費用がかかり過ぎるので、職員間での分担や週番制などで対応（④）
- ・施錠を教頭の仕事だという意識の壁を取っ払うことが必要（④）

※上記の他にも、大変貴重なご意見をいただきました。

- ①：第1回
- ②：第2回
- ③：第3回
- ④：第4回

勤勉さを失わないような改革を

取組方針3「時間を意識した働き方を徹底します」が先行している一方、取組方針1「仕事の総量を減らします」、取組方針2「マンパワーを充実します」が遅々として進んでいないような感じがします。期待した校務支援システムも改善途中であり、アンケートや文書印刷配付業務などが現場では増えました。一方で、授業時数の余剰時間をそれほど作らなくてよいというコンセンサスの上で検討が出来たり、プロジェクト会議において高校入試願書提出のネット申込の具体案が出るなど一条の光も見えています。仕事の総量を減らすこと、マンパワーの充実に向けて現場の意見を吸い上げながら熊本市教育の魅力を高められるよう努めていきます。

「時間を意識した働き方」を先生方に求める一方、自分を振り返ると、目が覚めてから寝るまで教材研究や学級経営、生徒指導や部活動のことなどに没頭し研究していた自分がいます。もしそれをしていなかったら、自信を持って学校で働くことは出来なかったろうし人生が変わっていたと思います。改革が進んで早く帰宅した後の「自主研修」はこれからもとても大切です。日本人の美徳である勤勉さは失われないような改革でありたいと思います。

白川中学校 校長 桃崎 剛寿

1月から
順次設置

留守番応答電話を今年度中に設置します！！

外部からの問合せに備えた対応等を理由に時間外勤務をすることがないよう、業務終了後は留守番応答電話での対応とします。

○留守番応答電話の設定時間【目安】・・・各学校で手動による設定ができます

小学校：18時30分から7時30分

中学校：19時00分から7時30分

○応答パターン

基本的に平日、土日祝日等の休業日、学校閉庁日の3パターンを想定

※詳細については別途通知します。

担当課：学務課

笑顔・効率・持続可能な取組を

昨年度よりプロジェクトメンバーとして参加をさせていただき、重責を感じています。

実践初年度のプロジェクト会議は、具体策の協議及び新たな取り組みへの検討が行われています。

また、全ての学校には、具体策が通知され、改革への取り組みがスタートしました。

先生方は、教材研究やテストの採点、生活ノートのコメント書きや学級通信づくり、それに保護者対

応等、様々な業務を児童生徒のために一生懸命に取り組んでいます。

一方、教頭として先生方の長時間労働に伴う高ストレスや精神疾患等の健康面、子育てや介護等、様々な事情も考えて、プロジェクトを進めていかなければなりません。

本プロジェクトの目的は、教職員の時間を創造し、生み出された時間を児童生徒との触れ合う時間、教材研究等の研究や自己研鑽、それに家族のために使う時間を増やすことです。

本校は、市教委指定の業務改善モデル校として、笑顔（smile）・持続可能（sustainable）・効率的（smart）な業務改善を目指して、長嶺中プロジェクトSの実践を行っています。

プロジェクトの目的を達成するために、ワークスタイルの変革を校長先生の指導・助言をいただきながら、先生たちと共に取り組んでいきたいと思っています。

長嶺中学校 教頭 水田 貴光

学校業務改善アドバイザー派遣事業

2/25（月）
開催決定

事例報告会を開催します！！

今年度、白川中・長嶺中・向山小において、学校業務改善アドバイザー派遣事業を行っています。3校による事例報告会を下記の日程で行います。お楽しみに！

日時：平成31年2月25日（月）14：00～

場所：熊本市教育センター4階大研修室（予定）

【アドバイザー】

（株）Co-Lab 代表取締役 伊藤史紀 氏（白川中）

コクヨ（株）ワークスタイル研究所 主幹研究員 齋藤敦子 氏（長嶺中・向山小）

事例報告会時にコクヨ（株）齋藤アドバイザーの講演会も予定しています。

※詳細については別途通知します。

担当課：教育政策課

子どもたちの教育のために

本年度より養護教諭としてこのプロジェクト会議に参加させていただいています。毎回、養護教諭の立場から、教職員の時間創造のための提案について考え、意見を出させていただくことに感謝申し上げます。

この会議は最終的には子どもたちの教育のために、いかにして教職員の時間を作り直し・創り上げていくかということで、熱心に協議がなされていると思います。行政と学校現場での違いやアプローチの方法は多少異なっているとしてもそれぞれの立場で建設的な意見が交わされています。

養護教諭の職務も年々多岐にわたり多忙化しています。最優先は子どもたちの対応、そして健康相談における学校内外でのコーディネートなど見えない部分も多く、また全校児童生徒分の健康診断等の事務処理も膨大です。

近年パソコンでの入力管理作業も急増し、さらなる負担となっています。そんな現状をしっかりと伝えながら、子どもたちの安心や安全、そして充実した学校生活のために、保健室経営がきちんと機能し充実できるように、養護教諭の負担軽減につなげられるよう参加していきたいと思っています。それがチーム学校の一員として学校全体の教育活動に影響していくと考えています。

出水南中学校 養護教諭 平山 恵美



11/30まで

冬季休業期間中も学校閉庁日OK!!

年次有給休暇等の積極的な取得を推進するために、今年度から夏季休業期間に学校閉庁日を設定しました。冬季休業期間中においては、学校閉庁日を特定日に設定しますが、各学校の判断により設定できることとしています。

年次有給休暇等の積極的な取得をお願いします！

なお、学校閉庁日における外部からの問合せは、夏季休業期間中同様、教育政策課にて対応します。（12月29日～1月3日は除く）

学校閉庁日を設定する場合は、11月30日までに、Cネット：教育政策課受取箱 ¥(03)企画班¥★★時間創造プロジェクト¥H30.11.30まで学校閉庁日に入力をお願いします。

担当課：教育政策課

夏季休業期間中の学校閉庁日に関するアンケート結果（抜粋）

対象：小学校92校・中学校42校・高校3校・ビジ専・幼稚園6園 計144校・園

回答：教頭（幼稚園のみ園長）

期間：平成30年8月16日（木）～8月22日（水）

回答：140校・園 未回答：4校 回答率：97.2%

設問1 学校閉庁日について、保護者等への周知でトラブルはありませんでしたか？トラブルがあった場合は内容を記載して下さい。 ⇒ 特になし（140校・園）

設問2 今年度、地域団体等より学校閉庁日直後の8月16日から、スポーツ大会への参加依頼があったようです。市教育委員会として来年度に向けそのような団体に協力依頼を出しますので、依頼を受けた学校はその団体名を記載して下さい。 ⇒ 次ページ

設問3 学校閉庁日について、困った事例等ありましたら自由に記載してください。

- ・転出入児童の来校等について事前に打合せをしておく必要がありましたが、特に問題はありませんでした。花壇の水遣りくらいが課題です。実施前までは5日間の閉庁（週休日を含む）となるので「大丈夫か」と不安がありましたが、おかげさまでまとまった休みを取ることができ感謝をしております。
- ・ちょうど台風が接近したので台風対策をするため学校をあけましたが、管理職のみの対応でした。
- ・市教委から電話がかかっていました。教育委員会内での周知・徹底も必要だと思いました。
- ・地域への周知が不足していたために、来客があった。今後、地域へも周知していく必要があると感じました。
- ・閉庁になることで、気にかけることなく休むことができました。また、年休消化もできました。

※上記の他にも、大変貴重なご意見をいただきました。

なお、夏季休業期間中の学校閉庁日において、教育政策課に専用ダイヤルを設置しましたが、外部からの問合せは0件でした。

担当課：教育政策課

平成30年10月2日付教政発第482号で下記通知文を発出しました。

質問等があった点について周知させていただきます。

教政発第482号
平成30年10月2日

各幼稚園長様
各小中学校長様
各高等学校長様
平成さくら支援学校長様
総合ビジネス専門学校長様

熊本市教育長 遠藤 洋路

登校に伴う学校（昇降口）解錠時刻及び教職員の最終退勤奨励時刻
の設定について（通知）

長時間勤務に伴う教員の負担軽減のため、標記の件について、下記のとおり取り
組みをお願いします。

解錠時刻の設定の対象は小・中学校

**既に7時30分以降を登校時刻に設定している
場合は、周知期間は不要です**

【登校に伴う学校解錠時刻の設定】

- 1 児童、生徒の登校に伴う学校（昇降口）解錠時刻は7時30分以降とする。
なお、2学期は周知期間とし3学期から本格的に実施する。
(別紙の通知に各校の設定時刻を書き込んで、保護者に配布してください。)

最終退校奨励時刻の対象は全学校

【最終退勤奨励時刻の設定】

- 2 教職員の定時退勤日以外の最終退勤奨励時刻を各月ごとに20時までの間
に校長が設定する。

平成30年10月12日付教政発第517号で下記の2019年度学校閉庁日について
のお願いを各種団体へ発出しました。

教政発第517号
平成30年10月12日

〇〇〇〇〇〇〇〇 ご担当者様

熊本市教育長 遠藤 洋路

2019年度学校閉庁日についてのお願い

時下、ますますご精励のこととお慶び申し上げます。平素は本市の教育に格別
のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

熊本市教育委員会では、働き方改革の一環として、本年3月に「学校改革！教
員の時間創造プログラム」を策定し、夏期休業中の学校閉庁日を設定しました。

2019年度も下記のとおり学校閉庁日を設定する予定であり、学校閉庁日期
間中は、中体連主催の全国大会を直後に控えているなどの場合を除き、部活動を含
む教育活動は行わないこととしております。

つきましては、2019年度貴組織主催の大会開催において、閉庁日直後の開
催とならないようご配慮をお願いいたします。

記

2019年度学校閉庁日 2019年8月13日（火）から15日（木）

協力依頼を配布した各種団体等（全18団体等）

ハヤカワ旗軟式野球大会・松下杯熊本県中学生ソフトテニス研修大会・体育堂ソフトテニス大
会・県高校学年別バドミントン大会・熊本市陸上競技協会・熊本市水泳協会・熊本市軟式野球連
盟・熊本市ソフトボール協会・熊本市ソフトテニス協会・熊本市テニス協会・熊本市卓球協会・熊
本市バドミントン協会・熊本市バレーボール協会・熊本市バスケットボール協会・熊本市ハンド
ボール協会・熊本市サッカー協会・熊本市柔道協会・熊本市剣道連盟